

スポット ニュース

瑞浪超深地層研究所の平成 15 年度の計画

瑞浪超深地層研究所では、平成 14 年度に引き続き、深いボーリング孔の掘削（MIZ-1 号孔）及び浅い 4 本のボーリング孔（MSB-1,2,3,4 号孔）を用いた地下水の水圧や水質の長期観測を行います。

施設等については、掘削用のヤグラなどの工場製作や主立坑と換気立坑の坑口の基礎工事などを行っていきます。また、建設管理棟（仮称）を設置します。

今後も安全を第一に研究や工事を進めてまいりますので宜しくお願いします。



【地上施設イメージ図】

(施設の形状、配置などはイメージであり、変更の可能性があります)

今月の主な作業内容

【瑞浪超深地層研究所】

深いボーリング孔の掘削作業及び調査（4月20日現在）
（MIZ-1号孔：掘削長116mまで掘り、水理試験を行いました）
浅い4本のボーリング孔（MSB-1,2,3,4号孔）での水圧などの長期観測
狭間川及び用地周辺井戸での水位計測

【正馬様用地】

既存のボーリング孔（AN-1,3,MIU-1,2,3,4,99MS-05,AI-7,10号孔）での水圧などの長期観測
表層水理観測及び機器のメンテナンス

地層研ニュースに関するご質問または、瑞浪超深地層研究所や正馬様用地の見学をご希望の方は、下記までご連絡下さい。

：0120-333-112 東濃地科学センター 地域交流課（青木,茅吹,福島）

文化・歴史・自然を楽しむ in 東濃

【乙塚古墳】(国指定文化財)

所在地：土岐市泉町久尻 1322

乙塚古墳は、直径 27.3m、高さ 6.6m の横穴式石室をもつ円墳です。埋葬施設は南に開口する巨石を用いた両袖型横穴式石室で、全長 12.1m、玄室（遺骸を安置する部屋）は長さ 5.2m、幅 2.6m、高さ 2.7m、奥壁幅 2m、羨道（入口から玄室までの通路）は長さ 6.4m、幅 2.4m、高さ 2.6m です。

この古墳は第 12 代景行天皇の泳宮行幸の際に見染められた八坂入彦命の娘弟姫が葬られたという伝説があります。出土遺物は確認されていませんが、古墳時代後期、七世紀に造営されたと考えられています。



乙塚古墳の様子

用語あれこれ

【ダイヤモンドって何？】

4月の誕生石でもあるダイヤモンドは、あらゆる鉱物の中で、もっとも硬い鉱物です。このダイヤモンドを構成している成分は炭素であり炭や鉛筆の芯などと同じ成分です。

ダイヤモンドは非常に硬い宝石ですが、火災などに遭えば約 800 度の熱で炭になってしまう面もあります。また、ダイヤモンドは人工的にも作られ、瑞浪超深地層研究所で行っているボーリング機にも使用されています。ボーリング機の先端にはダイヤモンドビット（人工ダイヤモンド）と呼ばれるものがついており、これは、硬い岩盤などを掘るときには欠かせないものとなっています。

来月の主な作業予定(5月)

【瑞浪超深地層研究所】

深いボーリング孔の掘削作業及び調査（MIZ-1号孔）
浅い4本のボーリング孔（MSB-1,2,3,4号孔）での水圧などの長期観測
狭間川及び用地周辺井戸での水位計測
立坑掘削工事用の仮設現場作業所等の設置

【正馬様用地】

既存のボーリング孔（AN-1,3,MIU-1,2,3,4,99MS-05,AI-7,10号孔）での水圧などの長期観測
表層水理観測及び機器のメンテナンス